

県立青森聾学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）
○一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。 ○家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。 ○幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。
スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）
【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】 次のような資質・能力を育成します。 ○日本語や手話を用いて自分の思いや考えを表したり、相手の思いや考えを理解したりすることができる言語力 ○自分を肯定的に捉え、夢や志を持ち、その実現に向けて努力することができる力 ○生涯にわたって学び続けることができる基礎的・基本的な学力 ○社会の一員としてよりよい生活を築くために主体的に役割や責任を果たし、協働していくための社会力と自己管理能力 ○多様性を尊重し、自分も他者も「よりよく生きること」ができる社会をつくる力
【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】 次のような教育活動を実施します。 ○幼児児童生徒一人一人の障がいの程度や特性を踏まえ、調和のとれた人間の育成を目指し、幼稚部、中学部、高等部では3年間を、小学部では6年間を見通した一貫性、幼稚部から高等部まで系統性のある学習を行います。 ○経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を育てるために、異学年・他学部と合同での学習や、近隣のこども園・学校との交流及び共同学習の機会を設けて学習を行います。 ○幼児児童生徒一人一人が自らの将来の生き方を考え、役割を果たそうとする意欲や能力、求められる態度、習慣を身に付けて社会的・職業的自立を図り、豊かな人生を歩むことができるよう、教育活動全体を通じてキャリア教育を実施します。
【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】 次のような生徒を求めています。 ○相手や場に応じた適切なコミュニケーション手段を選択し、自分のことを伝え相手のことを知ろうとする気持ちを有し、積極的に人と関わることができる生徒 ○自分の長所や特性を知り、自己を生かすことができると共に、相手の個性を尊重することのできる生徒 ○中学校段階までの基礎的・基本的な学習内容が定着し、身につけた知識・技能を用いて進んで学習に取り組み、自ら考えることのできる生徒 ○社会生活を送る上での望ましい生活習慣を身につけ、健康や安全に配慮した生活を送ることのできる生徒 ○自分の言動に責任感をもって活動できると共に、一緒に活動する場面では相手の立場を思いやり、協力して活動できる生徒

あおもりけんりつあおもりろうがっこう 青森県立青森聾学校

Aomori School for the Deaf

R7 グランドデザイン

スクール・ミッション(一部抜粋)

自立と社会参加に向けて
主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。



本校は、聴覚に障がいのある幼児児童生徒に指導や支援を行う学校です。

学校経営方針



校訓

誠 すなおな心まじめな気持ち
和 みんな仲良く助け合い
朗 明るく楽しい学校生活

- 夢や志の実現に向け、新しい時代に心豊かにたくましく生きる力の育成
- 特別支援教育のセンター的役割を発揮し、地域に貢献
- ★ 言語力育成 ★ 個性伸長 ★ 基礎的・基本的な学習内容の定着
- ★ 自主的・創造的生活態度 ★ 社会性の育成 ★ 情操の涵養

次のような力をのばします

- 思いや考えを伝える力
- 相手の思いや考えを理解する力
- 学び続けるための力
- 夢や志を持ち努力する力
- 役割や責任を果たす力

次のような学びを提供します

- 一人一人に合わせた学び
- 幼稚部から高等部まで系統性のある学び
- 多様な考えに触れる学び
- 役割を果たしながら、
自分らしさを大切にする学び

同窓会

地域

PTA

後援会

交流先

ともに歩み、ともに育てる学校づくり

令和8年度に開催する第60回全日本聾教育研究大会(青森大会)に向けた青森県内3校共通テーマ

よく考え主体的に学ぶための授業づくりをすすめます